

平成27年1月29日

原料費調整制度に基づく平成27年3月検針分のガス料金について (群馬地区)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成27年3月検針分の単位料金を、平成27年2月検針分に比べ1m³(43.14MJ)につき1.15円(消費税込)上方に調整いたします。

今回の調整は、平成26年10月～平成26年12月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に41m³のガスをお使いになる標準家庭で平成27年2月検針分と比較して、47円(消費税込)ガス料金が上がります。

平成27年3月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)			
1ヵ月の ご使用量	料金表A	料金表B	料金表C
	0～26m ³	27～522m ³	523m ³ ～
基本料金 (円/月)	745.20	1,269.62	7,470.98
調整単位料金 (円/m ³)	134.38	114.21	102.33
調整単位料金 2月 (円/m ³)	133.23	113.06	101.18

2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 41m ³ (43.14MJ/m ³)	平成27年 2月	平成27年 3月	増減
適用料金(円/月)	5,905	5,952	47

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5ヵ年平均)に基づき算定するよう変更いたしました。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	平成26年9月～平成26年11月 の平均 (2月 検針分)	平成26年10月～平成26年12月 の平均 (3月 検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	33,160	34,540	1,380
LNG	89,330	93,570	4,240
LPG	87,110	83,740	▲ 3,370
基準平均原料価格(b)	29,380		
差額(a-b)	3,700	5,100	1,400

- ・ LNG価格、LPG価格とともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= \frac{93,570}{100} \times 0.3462 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= \frac{83,740}{100} \times 0.0256 \end{aligned}$$

$$= \frac{34,536.91}{100} \text{円/t}$$

↓(100円未満四捨五入)

$$= 34,540 \text{円/t}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$34,540 \text{円/t} - 29,380 \text{円/t} = 5,160 \text{円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

$$= 5,100 \text{円/t}$$

■ 単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \frac{5,100 \text{円}}{100 \text{円}} \times 0.08208^* \\ &= 4.18 \text{円} \end{aligned}$$

(小数点第3位切捨て)

* 変動額100円につき単位料金を0.08208(0.076×1.08)円調整します

＜標準家庭における影響＞

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 41m ³ (43.14MJ/m ³)	平成27年 2月	平成27年 3月	増減
適用料金(円/月)	5,905	5,952	47

- ・ 標準家庭料金の計算方法
群馬地区

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込み)} &= \text{基本料金}(1,269.62 \text{円}) \\ &+ \text{調整単位料金}(110.03 \text{円}) + 4.18 \text{円} \times 41 \text{m}^3 \\ &\quad \text{料金改定時の基準単位料金} \uparrow \quad \quad \quad \uparrow \text{単位料金調整額(税込)} \end{aligned}$$

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(29,380円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.08208円(0.076円に1.058消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNGの貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が47,010円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は47,010円としてガス料金の調整を行います。